

令和7年度 福井県立道守高等学校 定時制スクール・ポリシー

スクール・ミッション【使命】

県内で唯一の三部制定時制高校として、柔軟な教育課程を活用しながら、個別最適な学びを支援し、共生・共助する心と力を磨く。また、様々な教育活動の中でソーシャルスキルの向上に取り組むとともに、地域と協働し、実体験を通じたキャリア教育を推進し、地域社会に積極的に参画できる人材の育成を目指す。

校訓

- (1) 誠実で健康な人となる
- (2) 勤労を尊び責任を重んずる人となる
- (3) 自主性に富み、進んで社会に貢献する人となる
- (4) 個性と能力を伸ばし心の豊かな人となる

教育目標

- (1) 生徒一人ひとりに寄り添い、個別最適な学びを支援しながら、基礎学力の定着を図る
- (2) 豊かな人間性や社会性を育み、コミュニケーション能力を養う
- (3) 自己の進路実現に向けた意識を高める

グラデュエーション・ポリシー【育てたい生徒像】

- (1) 自らの将来像を描き、その目標に向けて行動を起こせる生徒
- (2) 他人に対する思いやりの心を持ち、自己を律して社会に貢献できる生徒
- (3) 向学心を持ち、物事に粘り強く取り組む生徒
- (4) 豊かな感性を持ち、心身ともに健康で逞しく、ボランティア活動や地域の諸活動に積極的に参加する生徒
- (5) 郷土を愛する心を持った生徒

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

- (1) 本校定時制課程には、新中卒生以外に過年度生や転編入生が多いのが特徴である。職業に就いている生徒や休学・原級留置を経験した生徒が多いため、以下の学習形態を導入する。
 - ・1コマ45分とし、2コマの連続授業を実施することで、生徒一人一人に寄り添った個別最適な学びを細やかに支援する。
 - ・午前、午後、夜間の三部制定時制における他部併修および定時制課程通信制課程併設校における定通併修を活用しながら、多様でしなやかな教育課程を展開する。
- (2) 本校定時制課程には過去に不登校や相談室登校の経験者が多く、中学校での基礎学力定着が十分でない生徒が多いため、以下の工夫を行う。
 - ・通級指導において、コミュニケーション能力を育成し、学習上の困難に視点をあてた支援を行う。
 - ・ボランティア活動を単位として認定するなど、校内だけでなく学外での学修を推奨し、ソーシャルスキルやソーシャルマナー、ボランティア精神などを育成する。
- (3) 本校では、前籍校の単位や高等学校卒業程度認定試験、実用英語技能検定・日本漢字能力検定など技能審査の結果も卒業に必要な単位として認定する。
- (4) 教育課程の異なる学校からの転編入生に対応するため、いくつかの講座の中から選択できるように工夫する。1・2年次には必須教科科目を、3・4年次には専門科目および選択科目を配置し、生徒の多様な能力・適正・進路に対応した知識・技能を習得できるよう講座を編成する。
- (5) 総合的な探究の時間を「道の基礎」と位置づけ、4年次に学校設定教科「道」の学校設定科目「道の発展」を設け、本校における自主的探究的な活動の足跡をまとめながら、生涯にわたり継続的に学び続ける力を育成する。

アドミッション・ポリシー【入学時に期待される生徒像】

- 1 自己実現に強い意欲があり、将来の目標に向かって主体的に学び続け努力できる生徒
- 2 多様な価値観を尊重しながら相手を思いやり、他者と協働して活動に取り組める生徒
- 3 社会に高い関心をもち、社会規範を遵守しながら地域社会に参画する意志がある生徒